



2010年2月4日

各 位

大阪市淀川区西宮原1丁目7番31号
 IDEC株式会社
 代表者役職名 代表取締役会長兼社長
 氏 名 船 木 俊 之
 (コード番号 6652 東証・大証第1部)
 問 合 せ 先
 責任者役職名 経営管理部部長
 氏 名 西 山 嘉 彦
 T E L (06) 6398-2500

2010年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2009年7月28日に公表しました2010年3月期(2009年4月1日～2010年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2010年3月期通期 連結業績予想数値の修正(2009年4月1日～2010年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	21,000	△1,200	△1,200	△750	△24.11
今回予想(B)	22,000	△700	△500	△350	△11.25
増減額(B-A)	1,000	500	700	400	—
増減率(%)	4.8%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2009年3月期)	28,002	1,461	1,232	184	5.94

2. 業績予想修正の理由

昨年度後半以降の世界経済の低迷もようやく底を打ち、設備投資需要にも緩やかながら回復傾向が見受けられます。そうした中、当社グループの当連結会計年度の四半期別の受注高は、第1四半期：46億、第2四半期：61億、第3四半期：67億と、期を追う毎に順調に回復しており、特に第3四半期は、対前年同期比で、109%という水準になっております。一方で、売上高は、第1四半期：45億、第2四半期：54億、第3四半期：59億と、受注が先行している状況で、第4四半期も受注高は堅調に推移すると予測しております。当社といたしましては、このような需要の回復に対応し、今後さらに生産体制の拡充を進め、早期に業績を回復させることにより、下半期(2009年10月1日～2010年3月31日)は、利益面でも、営業利益・経常利益・純利益のいずれも、黒字に転換すると予想しております。

以上を踏まえ、前回公表いたしました2010年3月期通期連結業績予想を、上記のとおり上方修正いたします。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の予想値は、現時点で入手可能な情報から当社の経営者が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上